

開講学科	建築学科	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	建築施工	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		3年次	選択	14103001		
担当教員	沼本 要七	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	後期	金曜日	5時限	
授業の教育目的・目標	<p>目的：建築生産のしくみと社会や顧客とのかかわり、建物の準備から完成にいたる一連の基本的な施工技術とトータルな施工管理マネジメントを習得する。</p> <p>目標：建築施工の意義と役割およびその社会的責任や倫理観などについて、一級建築士レベルの理解への涵養を図るとともに、建築事業の根幹をなす生産のありかたやものづくりの大切さを学び就業の一助とする。</p>					
学科の学修・教育目標との関係	建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持っている。					
キーワード	建築事業、建築生産システム、施工技術（ハード）、管理マネジメント（ソフト）、社会・顧客とのかかわり（CS）、CSR、倫理、新技術開発、求められる人材、これからを生きる					
授業の概要	<p>建設業の概要と建築事業を概説し、そのなかで重要な位置をしめる建築施工の意義と役割を理解する。建築工事はどのような仕組みでどのように進められるか、多彩な諸産業との関わり、設計とのかかわり、契約のしくみ、建築現場業務について学ぶ。建築施工の各段階の施工技術を習得し、それらを駆使しつつ満足度の高い建築を完成するための施工管理マネジメントを学ぶ。またこれからの建築生産のありかたや、求められる人材について考えていく。コンストラクションウォッチングやDVD・ビデオ等による修習で建築施工の重要性和魅力を身近なものとする。</p>					
授業の計画	<p>第1回：はじめに、講義の目標、建設業の概要と建築事業の概説 建築施工とは（建設工事の仕組みと進めかた、何のために建築施工を学ぶか）</p> <p>第2回：建設業の特徴、建設事業、建設工事と現場運営、現場技術者の役割と能力</p> <p>第3回：施工技術1 準備、仮設、土・根切・山留め</p> <p>第4回：施工技術2 地業・基礎</p> <p>第5回：施工技術3 鉄筋コンクリート1（鉄筋、型枠）</p> <p>第6回：施工技術4 鉄筋コンクリート2（コンクリート）</p> <p>第7回：施工の管理マネジメント（Q、C、D、S、E）</p> <p>第8回：施工技術5 鉄骨</p> <p>第9回：施工技術6 プレキャスト</p> <p>第10回：—施工事例の学習および実習— ～元所長による講演～</p> <p>第11回：施工技術7 仕上1</p> <p>第12回：施工技術8 仕上2、設備、住宅建築の施工と仕上</p> <p>第13回：建築生産技術者の人材育成と求められる人材、建築施工のこれから （これからを生きる、自らを発信する、自らに自信をもつ、私は何をするのか？私には何ができるのか？新生産システム・施工技術、ICT、R&amp;D、品質、倫理）</p> <p>第14回：施工技術9 改修、維持管理、解体、ゼロエミッション、修復再生、地球環境</p> <p>第15回：まとめ</p>					
受講条件・関連科目	<p>受講条件：特になし</p> <p>関連科目：建築構造、建築基礎構造、鉄筋コンクリート構造Ⅰ、鋼構造Ⅰ、建築設備、建築生産</p>					
授業方法	テキストを中心に、DVDやビデオなどで講義をする。外部実務経験者による講演や、相互のトークやコミュニケーションも計画する。随時小レポート提出によりレビューする。					
テキスト・参考書	<p>現場技術者が教える「施工の本」 躯体編 江口 清 監修 建築技術 同上 仕上編 同上</p> <p>施工がわかる イラスト建築生産入門 (一社) 日本建設業連合会 彰国社 ポイントで学ぶ 鉄筋コンクリート工事の基本と施工管理 中田善久他 井上書院 基礎教材 建築施工 中川基治 井上書院 図解建築工事の進め方（鉄骨、鉄筋コンクリート造、木造住宅）内田祥哉等 市ヶ谷出版 わかりやすい建築の品質管理 篠木 オーム社、JASS（4. 5. 6. 10.）日本建築学会</p>					
成績評価	・期末試験（60%） ・レポート（40%）					
履修上の注意	毎回異なるテーマをレビューしていくこと					

